



第八回桜萩会総会にあたりて

桜萩会会長 森永貞一郎
(旧中二回修)

会員の皆さん、如何お過ごしですか。困難な経済状況のなかで、大いに頑張っておられることと存じます。

桜萩会の総会も、回を重ねること七回、今年には第八回を迎えることになりました。昨年の第七回の総会は、母校の創立六十周年の直後開催され、小林高校からも久保校長先生を始めとして、志戸本同窓会長や多数の先生方が参加され、多勢の教え子達と懐旧の情を新たにする意味深いものでありました。一年に一回の総会に、先生や先輩、そして同級生や後輩が一堂に会して、遠く離れている故郷の山野をしのびながら親しく語り合い、歌いあうことで、かねて私共の心の中から遠ざかっている「故郷を巣立った時の希望にみちた決心」や、「俺はやるぞと高千穂の峰に誓った心」を静かに噛みしめつ、どんな困難にも立ち向ってゆく新たな勇気を湧き起せるのではないのでしょうか。

旧制中学校から女学校、そして高等学校と卒業生は年々増えると共に、世代は次第に入れ替ってゆきます。その世代を通して、夫々の多様な職業をもつ先輩・後輩との交わりの中に、明日への新しい生き方を学びとることもできると思えます。

毎回、総会の開催の為に、多くの幹事諸兄弟が、かくれた地味な努力を重ねておられることを思うと、今年も是非とも盛大な、素晴らしい桜萩会にしたいものです。

多数の同窓生のみならず、特に若い方々がお集りになされることを願いながら、ペンを置きます。

「第八回桜萩会の成功を祈ります」。以上
昭和五十八年四月吉日

昭和58年5月10日発行
宮崎県立小林中学校
小林高等女学校
小林高等学校
関東地区同窓会
編集兼発行人
森山誠一
東京エコン内事務局
281千葉市長沼町135
☎0472(59)1211

原稿と広告を募集します。

桜萩会をみんなの力で

幹事長 森山誠一
(旧中十五回)

庭の桜が咲き、散り、若葉が目につきはじめる。桜萩会の季節になります。

今年も亦多くの方々とお会いできることを楽しみにしております。いつもは、心にかけてながら疎遠になりがちな人と、年一回の集いではあります。最近の状況を語り合い、昔の思い出にふけることに桜萩会の意義があると思えます。準備が充分とは言えませんが、ご満足戴けない面も多々あるかと思えます。世話を焼くお願ひしている人達のボランティアに頼っていますので、お許し願ひたいのです。お世話申す側としては、沢山集って下さるだろうかということが一番心配です。何とかして多くの人に参加してもらいたいと祈ります。

新校長の挨拶

宮崎県立小林高等学校長 吉田千郷

謹啓、陽春の候、桜萩会の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。先きの異動によりまして、本校に勤務することになりました。

前校長の久保先生は、生え抜きの小林っ子で、本校の歴史とともに歩んで来られた方であり、輝かしい業績を残されました。

ここに、満腔の敬意と感謝を表しますとともに、新しい日南高校でのご活躍を祈念いたしたいと思います。

この伝統ある本校に責任者として勤務するに当り、身の引きしまる思いをいたしております。

昨年、第七回総会の出欠状況を見ますと、次表の如く、高校一回り一〇回までが四七%で主力をなしております。二回〜三回は二九%でやや淋しい感じでした。旧中は案内状発送数に対する出席率が一番良く、一回り二回の女性の出席割合は最も低くなっています。

| 区分 | 案内状 発送数 | 出席した人 | | 合計 |
|-----|------------|-------|----|-----|
| | | 男子 | 女子 | |
| 旧中 | 118 | 38 | 17 | 176 |
| 旧高女 | 91 | 8 | 6 | 61 |
| 旧高男 | 104 | 22 | 6 | 60 |
| 合計 | 313 | 68 | 29 | 270 |

初めて出席した人は、一八名で、以前出席した人が今回出られなかった人は五六名でした。今迄出席したことがない人が回答者中一三〇名(四九%)、桜萩会の存在を知らなかった人が三九名(一五%)、クラスの幹事を知らない人が一八九名(七一%)で、PR不足を強く感じました。しかし、返答すらもらえない人が約七割です、多忙な仕事の合間を縫って世話を焼く下さる人に申訳なく思う次第です。でも、くさらず、根気よく地道に下働きしようと思っております。

桜萩会は、同窓生みんなの会です。みんなで盛り立てて行くにはありませんか。お願いします。

前校長の意志を受け継ぎ、それを発展させて、校訓の立志鍛練に恥じない学校にすべく、最善の努力をいたす覚悟でありますので、何とぞ、皆様のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

昭和五十八年四月二十二日

新校長・吉田千郷(ちさと)先生は、県立富島高校、校長であられ、五十七年四月より母校校長に就任されました。第八回桜萩会総会には、出席下さることです。

旧校長・久保和彦先生(高二回)は、母校に二十五年の永きに亘って勤務されました。母校出身者にして、最初に校長に就任された方です。えびの市(京町)出身です。

昭和57年度会計報告

| 収入 | | 支出 | |
|-------|-----------|-------|-----------|
| 摘要 | 金額 | 摘要 | 金額 |
| 年会費 | 161,000 | 總會費 | 794,600 |
| 幹事会々費 | 48,000 | 幹事会費 | 222,800 |
| 總會々費 | 672,000 | 通信費 | 59,515 |
| 總會寄付金 | 203,000 | 印刷文具費 | 373,750 |
| 寄付金 | 310,000 | 寄付金 | 70,000 |
| 利息 | 2,466 | | |
| 利権 | 33,275 | | |
| 前期繰越 | 154,130 | 次期繰越 | 63,206 |
| 計 | 1,583,871 | 計 | 1,583,871 |

昭和58年6月4日
*内名簿代 240,000
*会報 35,000
会計(事務局) 堀入初男
会計監査 立野輝男
" 永崎秀一郎

幹事名

| 旧中 | 年 | 高校 | 年 | 高校 | 年 |
|----|----|----|----|----|----|
| 1 | 23 | 1 | 24 | 7 | 30 |
| 2 | 23 | 1 | 24 | 8 | 31 |
| 3 | 23 | 2 | 25 | 9 | 32 |
| 7 | 27 | 2 | 25 | 10 | 33 |
| 11 | 31 | 2 | 25 | 11 | 34 |
| 12 | 32 | 3 | 26 | 15 | 38 |
| 13 | 33 | 3 | 26 | 16 | 39 |
| 14 | 34 | 4 | 27 | 17 | 40 |
| 15 | 35 | 4 | 27 | 18 | 41 |
| 16 | 36 | 5 | 28 | 20 | 43 |
| 17 | 37 | 5 | 28 | 29 | 52 |
| 19 | 39 | 6 | 29 | 30 | 53 |
| 21 | 41 | | | 31 | 54 |
| 22 | 42 | | | | |



母校通信

一 駅伝部 一

宮崎県立小林高等学校駅伝部監督

外山方園

新緑の折から、小林高校同窓生の皆様におかれましては益々ご健勝のことと拝察致します。

小林高校駅伝部には日頃より温いご支援を頂き感謝の意にたえません。おかげさまで、幸い昨年暮れの京都路での全国高校駅伝大会では、全国三位、2時間9分38秒と素晴らしい活躍ぶりを見せてくれました。優勝こそ逸しましたが、ここ3年間の低迷からの脱出で、同窓生の方々、駅伝ファン、後援会の方々のご期待に報いることができ、「今年も駅伝部をよろしく願います」と声を大にしてお願いできる喜びで一杯であります。昨年度は、高校総体をはじめとして、県内の陸上競技会では殆んど上位を独占し、又駅伝シーズンでも県内の各大会は本チームがすべて優勝しております。

特に全国大会に向けて、県高校駅伝大会(2時間12分6秒)、全九州高校駅伝大会(2時間10分46秒)と調子を上げ、富永、黒木の両エースの復調と、一・二年生の五千米走14分台の選手を擁し、「いいムード」で京都にのり込みました。選手には「完全燃焼」を毎日のミーティングで指導し、又選手も「勝つムード」を造ってくれました。大会当日は予想どおりの高いレベルの試合となり、五位までのチームが2時間10分を切るというレース展開のなかで、本校チームも実力を十分出し切って、上位入賞を果しました。

レース内容は、一区(一万米)でエース黒木選手(三年)が予想以上の好走、四位で二区へ、二区(三千米)では黒仁田選手(三年)が二位でタスキを渡し、三区(八千米)ではエース富永選手(三年)が復調したばかりにしては、すばらしい走りを見せ、四区(八千米)で守田選手(一年)がよくふんばり好走、

五区(三千米)で赤塚選手(一年)が優勝を意識しすぎ、気負ぎみでペース配分を誤ったが、六区(五千米)で後田選手(二年)があわてず、徐々に追い上げ、一人抜き四位へ、七区では、アンカー永田選手(二年)が世羅高校を抜き、堂々三位でゴールインしました。全員一丸で闘んだ全国第三位でした。全国大会の雰囲気にもまれることなく、選手達はよく健闘してくれました。

今年もすでに春季強化合宿を終え、いよいよ競技シーズンに入ります。新チームは昨年の全国大会レギュラー組の赤塚、守田、後田、永田の四選手を擁し、新一年生には全国中学第一位の選手をはじめ、素質に恵まれた楽しみな選手ばかりであります。現在、総勢三十名の所帯で頑張っております。

今年の全国大会は昨年以上の高いレベルのレース展開が予想されます。それは、昨年全国大会十位内のチームの殆んどが、全国大会のレギュラーの半数以上を残しているからです。

本校駅伝部も、これからの各種競技会を消化しながら真夏の厳しい強化合宿練習を経て、駅伝シーズンに臨みます。

選手たちも「今年こそはと」全国征覇に燃えております。

又今年も多々ご迷惑をおかけすると思いが、本校駅伝部への変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、小林高校同窓生の皆様方のご多幸とご活躍をお祈り致しますと共に桜萩会の益々の発展を願ってやみません。

昭和五十八年四月二十四日

昭和五十八年度 小林高校・大学合格者について

一 サンデー毎日 58・4・17号 (全国一三〇〇高校・合格者総覧)

- 東大 1・九大 12・北九州大 1・大分大 1・熊大 27・宮大 41・宮医大 3・鹿大 21・琉球大 27・広大 3・高知大 2・早大 3・慶大 3・明大 4・中大 3・東理大 2・青山学院大 3・東女大 1・同志社大 2・立命館大 2・関西大 2・西南学院大 4・福岡大 15・以上

朝日新聞

一 新人国記 82 一

宮崎県 同紙連載の中から小林高校同窓生の記事を転載。

五十七年十二月十三日

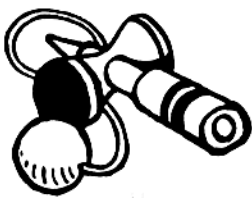
芸能会の強い個性

黒木和雄

(高二回)

小さい時から映画が好きで監督になった黒木和雄(五)も、唐が脚本化した村松友視原作「沼橋」の撮影を終ったばかり。同志社大を出て岩波映画製作所に入り、土木典昭、東陽一、小川紳介らと「青の会」を結成、三十六年フリーに。初の劇映画「とべない沈黙」が不評で一年間おくら入りになったり、キューパとの合作映画「キューバの恋人」では、配給上のトラブルから製作費金三千六百万円の回収ができなくなるなど四苦八苦した。「いい映画を作っても、配給会社が全国の劇場を支配し入り込めない。自分がねらったものを作るのは至難のわざ。めざすは黒沢明です」五十一年、芸術選奨新人賞を受賞。

編集後記 (続)



- 齊藤さんに出席をお願いしましたが、映画の主役出演のため、一ヶ月全く暇がないとのこと。本人は出席を希望していましたが、残念なことです。
- 齊藤さんとの交渉は、有坂さん(高九回)が尽力して下さいました。感謝いたします。
- 第二号増頁のため、編集担当(石渡 白井・永崎)も大重でしたが、広告掲載を快諾して下さいました諸兄弟に厚くお礼申し上げます。

「桜萩会だより」第2号 ● 宮崎県立小林高等学校関東地区同窓会 ●

経営コンサルタント

森山誠一 (田中十五回)

森山経営研究所
自宅 鎌倉市津西一丁目25-26
電話 〇四六七-三二一五・一〇三

弁護士 立野輝二 (田中十七回)

〒101 事務所
東京都千代田区神田駿河台二丁目一番地
近 岡 比 律 事 務 所
立野・横山法律事務所
電話 (二九一) 九四六五番

コンクリート用型枠
ハクリザイ製造販売

株式会社 木下商店

代表取締役 木下剛耿 (高一回)

平塚市夕陽ヶ丘七ノ四
(〇四六三) 二二一三二二五

オーダーの真髄を守る店
テーラーナカムラ

中村邦弥 (商二回)

衆議院指定
参議院指定
台東区谷中三丁目一五
(〇三三) 八二二一六〇九三

塗装工事一般
重防錆

大栄工業株式会社

代表取締役 佐瀬守
専務取締役 吉鶴光雄 (高四回)

電話 (〇四五) 三六三三・三六四三
横浜市瀬谷区阿久和町三三三六二一

アマゾン河釣行

(注) 丸岡さんは同窓会の一環の先導で、都立西園高校の校長のついでに、自らも釣行し、目下、釣行の準備中、釣行のお手伝いをしていただいております。

丸岡 英幸 (旧中一回)

昨年夏アマゾン河本流及びその附近の釣りの実態を確かめる心算で出掛けました。この釣りに就ては色々書かれてはいるが出来る丈じっくり体験し、日本にまね・ハブ・ヒグマがいるから危険だなどという見方はしたくないので観光は一切抜きにした。アマゾン河とは通俗的には上流まで含めてはいるが実は河口のペレン市附近から直線距離で約一五〇〇キロのマナウス迄をいう。この度の計画では河口のペレン附近に一ヶ月、中流のオビドス・チウルチーに一ヶ月、上流のマナウスに一ヶ月としました。

ペレン附近は金井哲也氏(日伯協会理事)をはじめ多くの日本人の方々の指導と援助をいたした。主な釣果だけをあげると鱈類(四キロから一〇キロ位のもの、背鰭・胸鰭が鋭く、毒を持つものもある)ベスカータ・アマレロ(イシモチに似る、七・八〇センチ刺身が美味)太刀魚、タライーラ(ライギョに似て鋭い歯)エイ(七〇センチ位)タカムー(アンコウ)ピラーニヤ(ピラニヤ、鋭い歯)ベッシュ・カシヨロ(下顎に二本長い鋭いオウカモリンプレット(スズキ)カラビンダ(鯛に似る)等々。中流附近は弟(小林中学卒在伯五十年日伯協会理事)の案内とその持舟にイタリヤ系の漁師達を同行させた。広範囲にわたるが主なものはピラルクー(淡水魚としては世界最大で一〇〇キロ以上のものがある。この度は五〇キロのものを取った)ピチュー(最も美味な魚)トクナレ(六〇センチ級で美味)ピラーニヤ(赤・白・黄の三種)サルジニヤ(イワシ)大小様々の鯰(スルビンは黒に白の縦縞で鯰では最も美味、八〇センチ級、その他六キロ以上のもの多数)ピラカチンガ(ピラーニヤとバクーの混血)カンジェロ(助平ドジョーとも言われ、色々の話の種にされている、二〇センチ位だが最も恐ろしい魚、いくらでも釣れるのに幻の魚の如く言われている。写真は私のもの以外には日本

には紹介されていない)アラ(太刀魚に似た淡水魚アロワナともい、一〇〇センチ位口中で子供を育てる)タツノオトシゴ(網でとる)マツトベリ(殆んど円形の平たい魚、バクー(そっくり)ジャトアラナ(トクナレそっくりだが尾鰭に紋がない)等々であった。マナウス附近の上流では弟の子供二人と戸田組現場主任の垣添氏が殆んど仕事を放棄しての案内と指導をいたしたのは恐縮している。弟は勿ろん一諸だった。こ、でも鯰が主で一〇〇キロ以上のものをとの話もあつたが私の方で敬遠し、五〇キロ以下だけにした。スルビン・ピラーニヤ等多種に及んだ。鯰以外ではタンバツキ(アマゾンの鯛といわれ美味)シジュ(肺魚)サルジニヤ(こ、のイワシはシヌモクザメのような突起が頭部にある)ピラーニヤ(ピラーニヤの中では最も大きく三〇センチ以上もあり、最も猛なもの)等であつた。イルカは下流から上流まで常に同行した。イルカには黒灰色の大型と小型と、ピンク色の大型のものがいた。八月三十日マナウス村岸カレイロの舟着場近くの釣りでバクーとサルジニヤのピラセーマにぶつかると好運に恵まれた。アマゾンでは減水期に入るとあらゆる魚の大群が行列を造って延々と遡上するピラセーマという現象があると弟から聞いたものである。これにカヌーを乗入ると物すごい勢で次々と舟に飛び込んで来るといふ事実を眼のあたりにした。船着場は突如として興奮の場と化して仕舞つた。

アマゾン流域の原始林は地球上の酸素供給源であると言われている。こ、では森林浴など全く必要ない。そこは確かに赤道直下である。灼熱高温の地獄のように思われている。日中は確かに暑い。でも夕方から夜にかけては必ず冷えて来る。私は風邪をひいて仕舞つた程で日中の暑さを忘れさせる程で「さわやかな暑さ」としか感じなかった。日本の夏の夜のように暑苦しく寝つかれないなどという事は在伯九十日の内でも一日も無かつた。日本より遙かに楽だった。マラリヤなどの風土病も本流域では既に絶滅している。オンサ

(豹)ボア・アナコング(大蛇)はいるが本流附近では減多に目にか、れない。鱶は捕獲が禁止され、保護に努めている状態である。サソリ毒毒グモはペレン市内にもいるが石でも引っくり返さない限り日常生活では無視しても大丈夫だった。私のアマゾン流域に対する認識の誤りの多くを知らされた。永住して見たいという願望すら持った。

アマゾンは確かに広大だし、濁流が滔々自然の威力が人間に強烈に迫って来る。それ丈に本流周辺にある多くのラーゴ(湖)の中には水が青く澄み鏡のような水面と緑の丘に囲まれた安らかな所があつて天国でも見る思いをさせられた。アマゾンは人類が生き残れる最後の土地という感じを残し、後髪を引かれる思いで帰国した。



編集後記

編集担当 永崎 秀一郎 (高四回)

新緑の候となり、故郷霧島の新緑を懐しく思い起しております。皆様方には益々御健勝にて各方面に御活躍のこととお慶び申し上げます。

月日の経つのは早いもので、今年も桜萩会六月祭の時期がやって参りました。多数の参加者があるようにと念じつつ会報をお届け致します。

旧友相集い、楽しい会にしたいと思います。ゲストとしてタレントの斉藤慶子さん(高三十二回)の出席を予定しております。

今回先輩の丸岡さん(旧中一回)にブラジル紀行文を頂き掲載しました。恒例の全国高校駅伝大会(昭和五十七年)第三位入賞の記事をお読みになって奮斗ぶりを思い出して下さい。今後とも、実のある会報の発行を願っておりますので多数の御投稿をお待ちしております。

「桜萩会だより」第2号発行 ●宮崎県立小林高等学校関東地区同窓会

株式会社 恒陽
代表取締役 大坪彪一郎 (高八回)
本社・東京都新宿区百人町 一―三三―三三
電話〇三(三三六)二七一一

総合インテリヤ 株式会社 上武
本社・浦和市白鷺七七一―
〇四八八―五二一六五六八
有坂久美子(旧姓・後藤) (高九回)

福崎税務会計事務所 福崎幹郎 (高九回)
千田 品川区東五反田五―二八―十一
クレール五反田八〇五
電話 四四五―〇〇七七

建築設備 空調エンジニアリング 総合社 株式会社 橋口空調 橋口和人 (二回)
本店〒190 立川市砂川町三二六一
〇四二五―三二―一九五六
桜萩会価格設定

印刷のご用は 何でも 陽光印刷へ
石渡 浩子 (旧高女二十二回)
中央区八丁堀三―十一―十三
電話(五五三)九七〇七